

看取りをテーマに地域医療医療介護学習会をおこないました

「看取りについて考えよう～患者の意思決定と新ガイドライン～」

6月20日（火）地域医療介護学習会が汐田総合病院会議室にておこなわれました。今回は、厚生労働省から今年3月に「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」が発表されたことを受け、1部では新ガイドラインが**アドバンス ケア プランニング**を踏まえて作成していることなどの講演を鈴木副院長より行いました。

2部では「**在宅・施設・病院**」様々な現場で**看取りをテーマ**にシンポジストの皆さんから報告をいただきました。特別養護老人ホーム わかたけ鶴見の介護リーダーの掃部様からは「**施設**」での看取りを希望された場合、家族への説明にパンフレットを使いこれから起こりうる症状や、施設でできることのお話をしていること。ケアステーションよつ葉のケアマネージャー岡本様からは「**在宅**」での2事例（認知症高齢者・主介護者の限界）を通じ、本人の「つぶやき」から本音を知ることの大切さや、「経済力」や「介護力」が在宅での看取りにで大きい問題になること等が報告されました。汐田総合病院 黒木看護師からは「**病院**」で医療を施しても回復が難しくなった患者さんへ、残った人生を穏やかに過ごしてもらうためにどうすべきだったかと振り返る事例が紹介されました。「職種によっても看取りに係わる時期や時間も異なる中で本人や家族の意向をくみ取り、充実した最後を迎えてもらうために、アドバンスケアプランニングの大切さを感じた。」など多くの感想が寄せられました。



おすすぬ!



第二回健康サポート教室



知ってて良かった脳卒中予防

6/25 ココファン鶴見にて、第二回目の健康サポート教室が行われました。今回は汐田総合病院 脳神経外科 小澤仁院長による「知ってて良かった脳卒中予防」テーマに、講演とリハビリスタッフによるストレッチ体操を行いました。150名もの多くの市民の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。



細胞の中の分子生物学 最新・生命科学入門

ダイレクトに認知症ではありませんが、生物を嫌いな方もたくさんいるかと思います。そんな方でも、入り口が少しつらいかもしれませんが、読み解いていくと最終的に小胞体へと行きつき、多くの疾患との関連がいつの間にかわっちゃう本です。

講談社 森和俊 著



スタッフのひとこと

臨床研究法が施行

本年4月から臨床研究法が施行されました。新聞をにぎわせた「ディオバン問題」から政府は特定臨床研究という枠を設けて、透明性と信頼性を担保できる仕組みを打ち出しました。もう忘れてしまった？「ディオバン問題」から日本も一歩を踏み出しています。

みなさんも新たな一歩を踏み出してみませんか。T.O



メモリーカフェ



認知症にまつわる悩み、専門スタッフに相談できます

汐田総合病院 会場：ラウンジぴゅあ（病院2階）

7月12日・9月13日（木）14:00-16:00

うしおだ診療所 会場：友の会汐田・向井町支部事務所

7月12日・9月13日（木）13:30-15:30 *8月は休み



うしおだ総合ケアセンター

We aim to build a non-discriminatory Integrated Community Care System that supports all